

平成22年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	赤外線新技術による太陽系外惑星研究の展開
研究代表者	田村 元秀
審査の所見	<p>本研究は、現代天文学の重要研究課題の一つである太陽系外惑星の探査を、すばる望遠鏡の赤外線観測により直接撮像と分光の両面から行おうとするもので、時宜を得たテーマである。直接撮像では地球型惑星までは迫れないものの、すばる望遠鏡の優れた結像性能を活かして確実な成果が期待される。加えて、分光観測を用いたドップラー法による惑星探査では、赤色矮星の近傍の地球型惑星の検出をねらうことができ、画期的である。以上のことから、特別推進研究として採択すべきであると判断した。一方で、研究経費の多くを占める近赤外線高精度分光器にはまだ開発要素が多いため、研究分担者等はもちろん、広く当該分野の専門家から技術協力を得て、万全の体制で臨むことをお願いしたい。</p>